

海上保安庁初の測量機 MA871 「あおばずく」

政府による海上保安体制の強化の一環として就役した測量機MA871「あおばずく」
海上保安庁初の測量機として全管区の担任水域を担務し、我が国の沿岸域において
航空レーザー測量による海洋調査に従事する中型航空機



令和3年2月22日
仙台航空基地に就役



<形式：ビーチ350>

<航空レーザー測深機>

全巾	17.66m
全長	14.23m
全高	4.37m
重量	4,501kg
速力	約487km/h

総重量	約300kg
測深深度	約75m（高条件下）
特徴	グリーンレーザーと近赤外線レーザーを発信・受信解析
	100Mピクセルのデジタルカメラを装備し、1秒ごとの写真撮影が可能



第二管区海上保安本部

MA871「あおばずく」が行う海洋調査の特徴

航空レーザー測量による海洋調査

領海やEEZ外縁の根拠となる低潮線の開拓のため、海底の状況調査を行う

- ・ 海・陸の区別なく計測 → 低潮線・海岸線を **直接測定**
- ・ **高速**で**広範囲**に調査可能
- ・ 船が近寄れない**浅海域**が調査可能
- ・ 災害時の状況把握等への貢献



～搭載される最新鋭の航空レーザー測深機～
レーザー光を利用し、透明度が高い海域で
特に威力を発揮し、水深、地形等の計測

